

## みんなで支え合うまちに

### 富士見荘でボランティア養成講座開講

1月25日、特別養護老人ホーム富士見荘で、平成22年度ボランティア養成講座が開講しました（全5回）。この講座は、ボランティア活動参加のきっかけとなることを目的に、社会福祉法人みちのく協会（関口知男理事長）が主催したもので、約20人が参加しました。この日は、関口理事長など3人による講話を実施。市社会福祉協議会の川又登志子次長は、「ボランティア活動では、笑顔のあいさつが相手に幸せと元気を与えます。積極的に話し掛けましょう」と語りました。



笑顔であいさつすることの大切さを語り掛ける川又登志子さん



「地域づくりは、みんなでやる地域の一体感が大切」と語る学生

## 学生が地域を元気にする

### 岩手大学地域連携フォーラムin八幡平

2月4日、西根地区市民センターで、岩手大学地域連携フォーラムin八幡平が開催されました。このフォーラムは、岩手大学で進められている研究内容や、同大学を含む県内5大学で構成する「いわて高等教育コンソーシアム」の活動などを紹介するために開かれたもので、市民など約130人が出席しました。学生発表では、学生たちが兄川地域や横間地域で地域資源マップ作りなどに取り組んだ事例を発表。独特の文化や自然を生かした地域づくりを提言しました。

## 歌に新たな命を吹き込む

### CD作成に向けて八幡平市民歌を録音

2月4日、県民会館大ホールで、八幡平市民歌のCDを作成するための録音が行われました。録音には、作曲と編曲を手がけた林芳輝さん（作曲家、岩手大学名誉教授）が立ち会い、声楽家の佐々木正利さん（岩手大学教育学部教授）や、鎌田滋子さん（県立大学社会福祉学部准教授）による独唱各1曲のほか、岩手大学合唱団35人による混声合唱2曲が録音されました。収録曲を収めたCDは、3月下旬完成の予定です。



岩手大学合唱団35人により、合唱2曲の録音が行われました

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

企業広告スペース